

あ行

◆アセットマネジメント

水道施設のライフサイクルを勘案した中長期的な視点で資産（施設や管路）管理を行い、更新改良の見込みと財政計画を整合させていく取り組み。

◆ICT（Information and Communication Technology）

情報や通信に関連する科学技術の総称であり、ITと同じ意味で使われることが多い。

◆遠方監視システム

遠隔地に設置された流量計や水圧計などの測定データを電話回線などを利用して伝送する監視システム。

か行

◆企業債

地方公営企業が、建設改良事業などに要する資金に充てるために借り入れた地方債。

◆給水収益

水道事業会計における営業収益のひとつで、水道料金として収入となる収益。

◆給水人口

給水区域内に居住し、水道により給水を受けている人口。

◆給水装置

給水のため配水管から分岐して設けられた給水管やこれに直結する給水用具。

◆緊急遮断弁

地震や管路の破裂などの異常を感知すると、自動的に緊急閉鎖し、水の流出を防ぐ機能を持った弁。

◆クリプトスポリジウム

人の他に哺乳動物の腸内に寄生する病原性原虫。汚染された飲料水などを介して経口摂取することで感染し、下痢や腹痛などの症状が現れる。塩素に強い耐性を有しているため、水道水の消毒程度では不活化させることができない。

◆公共施設等運営権方式（コンセッション方式）

施設の所有権を地方公共団体などに残したまま、その運営を特別目的会社として設立される民間事業者が行う事業の手法。

さ行

◆紫外線照射設備

塩素消毒では死滅しないクリプトスポリジウムなどの病原性原虫を、紫外線の照射により不活性化する処理設備のことで、不活化性することにより人への感染を防ぐ。

◆指標菌

クリプトスポリジウムなどによる汚染のおそれを簡便に判断するため、指標菌検査が導入されており、大腸菌や嫌気性芽胞菌が定められている。

◆純損益

年度内における収益（水道料金など）と費用（水道水の給水や施設の維持管理費など）との差額。

◆水道水質検査方法の妥当性評価ガイドライン

水質基準項目の基準値などに適合していることの判定を目的として水質検査を実施する場合に、検査機関が自らの標準作業書に示す検査方法の妥当性を評価するための手順を示すもの。

た行

◆貯水槽水道

水道事業から一旦ビルやマンションなどの貯水槽に給水を受け、それを各戸に給水する水道。

◆直結給水方式

給水方式のひとつで、配水管の水圧を利用して給水する方式。

は行

◆ポンプ直送給水方式

給水管の途中に増圧給水設備と受水槽を設置し、圧力を増して直結給水する方式。

◆ P I

水道事業ガイドラインに示されている業務指標で、各水道事業者が自己分析や目標設定に活用している。

や行

◆有効率

有効水量を給水量で除したもので、給水量に対して有効に使用された水量（給水量から管路の漏水などの水量を除いたもの）の割合。

◆有収水量

料金徴収の対象となった水量。

四日市市水道ビジョン 2019
(水道事業基本計画)

平成 31 (2019) 年 2 月

発行 四日市市上下水道局経営企画課

〒510-0076

四日市市堀木一丁目 3 番 18 号

TEL:059-354-8369

FAX:059-354-8249